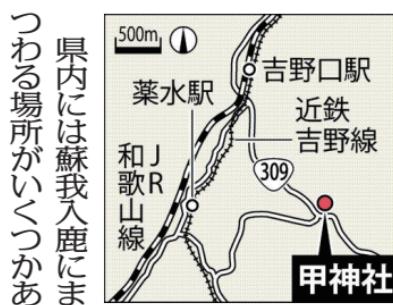




甲神社本殿と、左右に並ぶ境内社の伊勢神社、春日神社
（大淀町今木で）

入鹿の甲 奉納の伝説



甲神社（大淀町）

ですが、入鹿の甲が奉納されたと伝わる大淀町の甲神社もその一つです。祭神は大己貴命、素戔鳴命など4柱で入鹿ではありませんが、古くから入鹿大明神と称され、氏子の今木地区住民に大切に守られてきました。蘇我氏はこの見方もあります。

「大淀町史」などによると、6世紀に朝鮮半島特に百濟から織物、須恵器作りなどを伝えた人々がこの地区などに移り住み「今來の才伎」と呼ばれました。蘇我氏はこれらの人々を保護したときれ、入鹿もこうした人々と関係があったとされています。

拝殿の奥に本殿、その左右に境内社が鎮座します。本殿は春日造、屋根は桧皮葺で、千木や鰹木が設けられています。

境内社は伊勢神社と春日神社で、いずれも春日造。伊勢神社には天照大神が祭られています。本殿の横には神木と遙拝所があり、ここから伊勢方向を拝むことができます。

秋の祭礼は10月第2曜日。前日の宵宮に各地の提灯で作られたスキ提灯が境内に立てられ、翌日の本祭へ気持ちを高めます。（奈良まほろばソムリエの会会員 柳原恵子）



（住所） 大淀町今木367
（祭神） 大己貴命、素戔鳴命、月読命、保食命
（交通） JR和歌山線・近鉄吉野線

（拝観） 自由
（駐車場） あり（1台）
（電話） なし

「吉野口駅」から徒歩約30分